

第15回：濱田 しま子 さん（特定非営利活動法人サポート華生 所長）**どんな NPO 法人ですか？**

通所介護事業所・デイサービス「花の家」、居宅介護支援・訪問介護事業所「サポートはな」、認知症対応型通所介護事業所・デイサービス「花の家Ⅱ」を運営しています。利用者の負担を増やさない範囲で「ちょっと」いいサービスを提供することをスタッフ全員が心に留めています。

起業してみてどうでしたか？

施設を作るにあたっては、いずれ自分がデイサービスの利用者になったときに自分が使いたいと思うような施設を作ろうと思いました。この思いは今も変わらず根底にあります。また、地域の中で認めていただけるような施設にしていきたいと思い、地域との関係づくりを大切にしてきました。当初、10年かかると思った水準まで7年で到達できています。隣の「花の家Ⅱ」も5年かかると思った水準の少し手前まで3年目で到達できました。

起業時、重要だった課題は？

人材の確保、起業家自身の知識・情報収集、起業に伴う各種手続き、事業戦略、業界慣行・地域性です。

**課題はその後、どうなりましたか？**

人材の確保については、人材育成のキーパーソンであった職員が亡くなったことでしばらく解決できませんでした。そのために訪問事業の展開は計画よりもやや遅れました。知識・情報収集については、介護労働安定センターや同業の友人経営者に相談して解決しました。友人には経営のことをしっかり考えるようアドバイスしてもらい、とてもありがたかったです。起業に伴う各種手続きは、奈良県の長寿社会課で何度も相談して解決しました。親切に熱心に教えてくださいました。事業戦略については、「ちょっと」丁寧なサービスをすることで他の介護保険の事業所と差別化を図りました。業界慣行・地域性は、自治会との連携、ケアマネージャー達との交流、同規模のデイサービス事業者との交流、などで情報交換を行いました。現在も続けています。顔を合わせることと横の繋がりは、事業にはとても大事だと思っています。

起業時、役に立った相談・支援機関は？

同業の友人経営者です。
具体的に教えてもらえて、本当にありがたかったです。



起業前の経験は活きていますか？

学校を卒業後、公務員で総務や福祉の仕事を経験しました。
雇用や労働、給与のことだけでなく、公金に関わる事業できちんとした書類を作成することが重要であることを知ったことは、現在の事業に大変役立っています。
その後、看護学校に入り、看護師になりました。
医療系の人間が介護施設にいることはこの施設の強みになっています。

今後の抱負は？

介護保険事業は5年に一度、制度改正があります。
来年はとても大きな改正があるので、制度の行方を見極め、これからも地域の中で「ちょっと」いいサービスを提供していける施設にしたいと思います。
また、職員の資格取得応援など、長く働ける環境づくりも大切にしていきたいと思っています。



企業情報

商号	特定非営利活動法人 サポート華生
業種	医療・福祉
起業年	2005年
HP	http://www.eonet.ne.jp/~s-hana/kaisha/index.html
所在地	〒634-0063 奈良県橿原市久米町 528-1
連絡先	0744-51-1512